

年度 2007 学期 前期	曜日・校時	金 4	必修選択	必修	単位数	1
授業科目/(英語名)	ドイツ語 German					
対象年次	1 年次	講義形態	演習	教室		
対象学生(クラス等)	M11		科目分類	外国語科目(ドイツ語)		
担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー	担当教員(科目責任者): 古賀正之 / Eメールアドレス: /研究室: 非常勤講師控室 /オフィスアワー: 金曜日休み時間(教室のみ)					
担当教員(オムニバス科目等)						
授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標						
<p>授業のねらい: 現代のドイツは拡大するEU(ヨーロッパ連合)の政治、経済、文化の中心として重要な役割を果たしています。ヨーロッパで最も多くの人々が日常的に用いているドイツ語を学習することを通して、ドイツ語圏とヨーロッパへの関心、知識および理解を深めていきます。</p> <p>授業方法: 時間ごとのテーマに即した会話表現を学習者自身が練習し、その後で役割に応じて口頭で発表する。さらに会話表現に出てきた文法事項の確認を学習者と教師で行う。また定期的にドイツ語圏を取り上げたビデオを見て、その内容についてレポートを提出することです。</p> <p>授業到達目標: 基本単語を用いて口頭による日常的なコミュニケーションが取れること。初歩的な文法を理解し、運用できること。さらにドイツ語圏の社会と文化を簡単に説明できることです。</p>						
授業内容(概要) / 授業内容(毎週毎の授業内容を含む)						
<p>授業内容(概要)</p> <p>初習者を対象に、ドイツ語の初歩的な文法・基本単語および表現を用いて、自分の意思・意見を相手に伝え、同時に相手から情報を得る練習を行います。また毎月1回ビデオ学習を行います。</p> <p>第1回 アルファベットと発音の基礎 / 挨拶ができるようになる 第2回 自己紹介ができるようになる 第3回 他人の情報(名前・出身・年齢)を尋ねることができるようになる / du と Sieの違いを理解する 第4回 主語にあわせて動詞の語尾を正しく変化できるようになる 第5回 自分の趣味について語れるようになる(不規則動詞の変化を覚える) 第6回 趣味について人に尋ねることができるようになる 第7回 人をテニスや映画に誘えるようになる / 曜日を覚える 第8回 日常使うものを冠詞をつけて表現できるようになる 第9回 大きさや重さ、色などの形容詞を覚える 第10回 話法の助動詞を使って、可能表現・禁止表現などができるようになる 第11回 店で簡単な買い物(値段を聞く・要望を伝える)ができるようになる 第12回 行き先に応じて前置詞を正しく使えるようになる 第13回 ドイツの生活で欠かせない日用品の名称を覚える 第14回 建物や商品の位置関係を表現できるようになる 第15回 定期試験</p>						
キーワード	パートナー練習・聞き取り練習・ビデオ学習・個別指導					
教科書・教材・参考書	三宅ノコッホ CD付き アクティブに使うドイツ語 三修社					
成績評価の方法・基準等	1. 定期試験の成績(40%)、2. レポート(10%)、3. 毎時間の口頭発表の結果(50%)で評価します。具体的には、1. 各自当学期14回までの授業で学んだ会話表現や文法知識を使い、一定のテーマに沿ってテキストを作成し、それを覚え、実際にパートナーと話すことができるかどうか、2. ビデオで取り上げられた内容について、自分の知識や経験に基づいて、説得力のある的確な意見を示せるかどうか、3. 各回ごとに取扱う場面にふさわしい会話表現を覚え、その背景となる文法を理解し、それをを用いて意思の疎通ができるかどうか、という観点から成績を評価します。					
受講要件(履修条件)	必要出席回数を上回ること。					
本科目の位置づけ / 学習・教育目標	母国語、英語以外の言語を習得すること。 / それによって新たな知的視野を広げること。					
備考(準備学習等)	独和辞典は当面は不要です。授業開始後必要に応じて紹介します。 次回の授業で用いる会話表現の意味を調べ、覚えておくことが望ましい。					